

第6回句会 俳句

【高点句】

☆夕陽濃しみかん一際色増して
〈眞澄〉

☆一人来て去年（こぞ）を流せし道後の湯
〈茂〉

☆蜜柑剥く聞きそびれたること一つ
〈抹茶〉

【各自一句】

・春近し木を離れ木をふり返る
〈紗希〉

・路地裏に三味の音洩れて初稽古
〈明美〉

・自転車のママの背に児の白い息
〈眞澄〉

・参拝を終へて買い初迷ひ初
〈静〉

・初詣車椅子押す子らに笑み
〈撫子〉

・嬉しきは老いたる母の雑煮かな
〈茂〉

・白菜を茹でてより水柔らかし
〈抹茶〉

・どの枝も小さき冬芽にあるいのち
〈一馬〉

・おもふことおもふことあり寒椿
〈千恵〉

・初富士やのどかトンビの輪の下に
〈莫院〉

・初売りの幟にぎやか角向こう
〈安津子〉

・春高を奪還快挙母校沸く
〈貪愚理〉

・朗報に腰浮かせて球春を待つ
〈光保〉

*以上、38句（3句ずつ13名・うち1名は2句）より

*選句は15名による特選1句・選句4句（うち1名は選句2句）

*高点句は、高得点の句より三句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による